

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (竹原市立東野小学校)

- ① 教科等 外国語活動 ② 学年 第6学年
- ③ 単元名 できることを紹介しよう
- ④ 本時の目標 どのようなことができるかを友だちや先生に尋ねたり、答えたりしようとする。
- ⑤ 学習の流れ (3時間目/全4時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が英語であいさつをしたり、HRTとALTとの会話を聴いたりすることを通して、英語に触れる機会を多く設定する。 ・単元に関連した歌を歌うことで、学習に意欲をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ can や can't を使って、どのようなスポーツなどができるかを尋ねたり答えたりしようとしている。〔外国語への慣れ親しみ〕 (行動観察、インタビューカード)
2 歌を歌う。		
3 めあてを確認する。		
友だちや先生のできることを尋ねたり答えたりしよう。		
4 発音練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板にスポーツをしている人のシルエットを写して何のスポーツかを当てさせるなど、英単語の発音のさせ方を工夫させる。 	
5 タスク活動1を行う。 (ジェスチャーゲーム)	<ul style="list-style-type: none"> ・5人一組になり、ジェスチャーを使って相手にはっきりとスポーツを伝えていく。 ・日本固有のスポーツの相撲を扱い、自国と世界のスポーツについて触れる。 	
6 タスク活動2を行う (インタビューゲーム) ①友だちや先生にインタビューをする。 ②相手が答える。 ③一言伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを工夫し、インタビューをしたら相手の名前を記入するようにさせる。インタビューをする前にはあいさつをし、相手と話しやすい関係を築くようにさせる。 ・相手に伝わるようにはっきりと尋ねさせたり、相手の答えをよく聴いたりさせる。 ・印象に残った相手の特技を、あとでみんなに紹介することを伝え、いろいろな人に質問をしようとする意欲を高める。 ・どうインタビューをしたらいいか迷ったら、ALTに尋ねることを確認する。 ・インタビューが終わったら、「すごいですね。」「私ものです。」などと感想を一言伝えることを知らせる。 	
7 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを活用し、本時のめあてについて振り返りを行わせる。ALTの口の形をまねて話そうとしていたり、ジェスチャーをつけて伝えようとしていたりした児童を紹介し、評価する。 	
8 あいさつをする。		

設定した言語活動を通して育てたい力

- 「できる」「できない」という表現を使って自分を表現したり、友だちや先生に質問をしたりする活動を通して「できる」「できない」という表現に慣れ親しむことができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- あいさつをしたり名前を書いたりできるワークシートを活用し、インタビュー活動を行う。

「言語活動の充実」